



語学や理工学系の知識を身につけるだけでなく、
ベトナムの歴史・文化・生活習慣に深く触れることで
私の世界観が変わりました！

工学部 材料工学科 3年 野崎 萌さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： ベトナム FPT大学

私にとって2回目の留学先として、ベトナムのFPT大学を選んだのには、3つ理由があります。まず第1に、将来社会人になった時、開発や共同研究などで関係を持つ機会があるであろう東南アジアの現状を、自分の身をもって経験しておきたいと感じていたからです。2つ目は、日本にいただけではなかなか学習することができないアジア独特のイントネーションがある英語を隔たりなく聞き取れるようになりたいということです。3つ目は、日本と環境が大きく異なる国に自分の身を置いて生活してみたかったからです。これらの理由で、FPT大学の語学研修に参加することを決めました。

FPT大学は2週間という短期間のプログラムでしたが、1日の授業時間数は多めで、午前中3時間、午後1時間半の授業がありました。授業後や休日にもアクティビティがあり、現地の方や他国からの留学生たちと一緒に過ごす時間が大変多く、充実していました。また寮には現地の学生や様々な国からの留学生がいたため、朝から晩まで英語を使って親睦を深めることができました。言葉だけでなく、宗教的なことやそれぞれの国の文化の違いなども身をもって体験することができました。現地ですぐれた友人達とは、参加から1年以上経った今でも、まだ連絡を取り合っています。

留学に行くと、現地の友達が出来るため、旅行で行くよりその国の実体を知れるように感じます。旅行に行っただけでは絶対に行かなかったであろう地元のスーパーや裏路地に入ったり、また、現地の人たちが日常的に使っている交通手段(バイク二人乗りのタクシー！)などを使ったりしてベトナムの文化や社会状況などを身をもって感じることは、この語学研修に参加したからこそ得られた収穫だと思っています。TOEICのような数値で測れる英語の成績ももちろん上がりましたが、それ以上に、自分がこれから生きていく上で活かすことができるであろうたくさんの大切なことに気づくことができました。行く前は怖さと心配で参加を迷っていましたが、今では、ベトナムFPT大学の語学研修に参加してよかったと心から感じています。